



第61号 2019年4月25日

富山県合唱連盟

事務局
北日本新聞社読者局事業部内
〒930-8680 富山市安住町2番14号
TEL (076) 445-3355
FAX (076) 431-1924

発行人 松下正樹



高岡高等学校合唱部



合唱団クール・ファミリー



花水木会



富山大学合唱団

第18回

富山県室内合唱コンサート
合唱講習会
講師 作曲家・合唱指揮者 松下 耕氏



高岡第一高等学校合唱部



女声合唱団「コール麗」



新湊合唱クラブ



男声合唱団 K&K クルー



第九
第54回交響曲
歓喜の夕べ
2018

2018.12.24 オーバード・ホール 北日本新聞社提供

Symphony No. 9

第九「歡喜の夕べ 2018」

2018.12/24(月・振) オーバード・ホール

「平成最後の『第九』」

富山放送合唱団 井上 澄子

何かにつけ、「平成最後の」という言葉がつくこの頃ですが、「第九」歡喜の夕べ2018にもこの一言がつくこととなりました。昭和、平成と二つの時代をまたいで続く「第九」というのは感慨深いものです。そして「第九」も、今年の年末には新たな一歩を踏み出すのです。

私は今年も合唱に参加させていただき、また一つ、新鮮さを味わった気持ちです。初めて飯森先生が来富された時のことを思い出しながら、今回練習に臨んでいたのですが、その時以上にエネルギーで力強い「第九」がありました。

今回の合唱では、前回、前々回以上に、一つ一つの言葉の意味に沿って歌うことを要求されています。「世界」「柔らかな翼」を歌いながら、(少し大げさですが)世界中に理想を訴え、平和を願うのだと感じました。

ところで、飯森先生の「第九」では、オーケストラの配置が通常と反対になります。ベートーヴェンの時代と同様に、ということですが、初めて飯森先生の指揮で歌う皆さんは驚いておられました。私はアルトなので、普段の年はコントラバスを目の前にして歌うので、今年のようにティンパニの後ろで歌うのはやや勝手が違います。しかし、力強いティンパニに奮い立たされたのか、アルトは力を込めて歌っていたと思います。客席にはどう聞こえていたのでしょうか。聴いてくださった方からは、「今年の『第九』は若々しさや新鮮さ、力強さもあってよかったよ。」とおっしゃっていただきました。

私は今、「〇〇最初の『第九』」がどのようにつながっていくのか、新しい一歩をどのように踏み出すのか、未来が楽しみです。

「第九」歡喜の夕べ2018に参加して

富山大学合唱団 荒田 瑠香

私が「第九」歡喜の夕べに参加したのは今回で二回目のことでした。高校生の頃に少しかだけ合唱をやっていたので、「第九」に参加したこともありました。初めてではないとはいえ、歌うのも二年ぶりほどのくらい歌えるのが心配でした。しかし、練習に参加して実際に歌ってみると、意外と音程やフレーズは覚えていて、あまりにも歌えないという事態にはなりません。自分が歌っていいパートのフレーズも、口ずさむことができたくらいです。一度歌ったものは、案外忘れないものだなと実感しました。それでも、完璧に歌えていたわけではない

で、本番までに苦手なところの音程をしっかりと取ること、歌詞を覚えることを意識して練習しました。特に歌詞を覚えるのには少し時間がかかりました。「第九」には似たような入り方や音程の部分が多いので、ここはなんの歌詞から入るのだったかなと考えて歌っていました。考えながら歌うとどうしても出だしが遅れてしまいがちです。綺麗に出だしから歌えるように、フレーズの最初の歌詞は特に確認して間違えないようにしました。それから、正しくドイツ語を発音するのもなかなか難しかったです。あまり外国語の歌を歌うこともないので、読み方を間違えることが度々ありました。いろいろ万全ではない中で本番に臨みましたが、自分の中では特に大きな失敗もなく終えることができました。

歌の力

高岡南高校合唱部 越田 歩花

私たちは12月に、県内の約320人の合唱を愛する方々やソリスト、オーケストラの方々と一緒に「歡喜の歌」を歌いました。

一度目の昨年は、それまで聞いたことのないドイツ語の発音やリズムに必死で、歌詞の意味をイメージしながら歌うことが難しかったが、二度目の今回は、指揮者の飯森先生や指導してくださった先生方から教わった歌詞の意味や場面のイメージを自分も思い浮かべながら、さらに楽しく歌うことができました。

ベートーヴェンが作曲したこの交響曲は、9番目にして彼の最後の交響曲でもあります。たくさん指導をしていただき、「歡喜の歌」というドラマの登場人物の一人になったような気持ちで歌い上げたとき、歌詞にある「魔力」が働いて、会場が一つになったように感じました。

今回、練習から本番まですべての行程を通して改めて歌うことの楽しさを感じることができました。この楽しさを、多くの人に広めたいと思うようになりました。大きなステージで大勢の方々と歌うことができたこの貴重な体験を活かして、これからも活動しようと思います。

54回続いた「第九」がこれから先も続いて、合唱をしていない人たちにも「富山の年末といえば『第九』」と、言ってもらえるようになるといいなあと思います。



二月十一日(月・祝) アイザック小杉文化ホールラポールにおいて第18回富山県室内合唱コンサートが開催されました。コンサートに先立ち午前の合唱講習会では、講師として作曲家・合唱指揮者として大活躍の松下耕先生をお迎えしました。講習曲は先生の作品より「ほらね」「信じる」を取り上げ、発声に始まり、詩の解釈、作曲家としての作品への想いから曲作りまで熱心にご指導いただき、会場いっぱい伸びやかな歌声が響きわたりました。また、午後のコンサートでは全出演団体の演奏をお聴きいただき講評をいただきました。

○出演団体

☆合唱団「あるも」 ☆小矢部市民合唱団 ☆富山中部高校コーラス部 ☆合唱団おさわの ☆福野あすなる合唱団 ☆富山あざみ女声合唱団 ☆富山高校コーラス部 ☆高岡西高校合唱部 ☆南砺福野高校合唱部 ☆女声合唱団「クール・クロア」 ☆富山東高校合唱部 ☆富山大学人間発達科学部附属中学校コーラス部 ☆新湊合唱クラブ ☆花水木会 ☆女声合唱団「コル麗」 ☆高岡第一高校合唱部 ☆高岡高校合唱部 ☆合唱団「クール・ファミー」 ☆男声合唱団 K&K ルー ☆女声合唱団「ヴォーチェ・フォンターナ」 ☆富山大学合唱団 ☆富山いずみ高校合唱部 ☆合唱団「楽音樹」 ☆合唱団「音楽室」 ☆とやま女声アンサンブル「きらめき」 二十五団体

総務部長 林 紀代美



講師 / 松下 耕氏



富山高等学校コーラス部



とやま女声アンサンブル「きらめき」



合唱団 おおさわの



合唱団「楽音樹」



第18回富山県室内合唱コンサート

合唱講習会 講師 / 作曲家・合唱指揮者 松下 耕氏
2019.2/11(月・祝) アイザック小杉文化ホール ラポール

富山高校コーラス部 奥井 悠生

第18回富山県室内合唱コンサートでは、作曲家・合唱指揮者の松下耕先生を講師としてお迎えした合唱講習会が行われました。もちろん、他の合唱団の方々の演奏を聴く機会もめったにないのでとても貴重な場でした。また、講習会の中の松下先生の言葉は特に深く心に残っています。

「楽譜には、僕たち作曲家や作詞者の人生がこもっている。だから、もつと深く読んでほしい。」この言葉を聞いた僕は衝撃を受けるとともに、今までの自分の楽譜に対する読み込みの甘さを痛感しました。僕は楽譜を「読む」時、歌詞の解釈を考慮することでより深く読み込めると思っていました。しかし、先生の言葉を聞き、指導を受ける中で楽譜を「読む」ことは歌詞の解釈だけでなく伴奏はどう流れているのか、何を表現しようとしているのかを読み取るのだと知りました。

松下先生のお話は音楽的にだけでなく、生きる上でとてもためになるものだったので、参加できたことをとてもうれしく思います。

とやま女声アンサンブル「きらめき」 森 香織

午前中は合唱指揮者・作曲家である松下耕先生による合唱講習会がありました。課題曲「ほらね」「信じる」を作曲者自身からご指導いただくことで、詞やメロディーに込められた思いや心情、言葉にならない感情、作品の背景である景色や風景を改めて知ることができ、とても感動しました。松下先生は気さくで温かい方で、テンポよく指導してくださり二時間の講習がとても短く感じられました。

午後からの室内合唱コンサートでは「きらめき」は松下耕先生の曲を演奏するということで大変緊張しましたが、午前中の講習会を活かしてより発音や音楽記号の意味を考えながら演奏し、先生からは温かいコメントを頂戴することができました。また、たくさんの他団体の演奏を聴く中で、自分たちの個性とは何だろうかと考える貴重な機会となり、これからは富山県の合唱を担う一員として真摯に合唱に取り組みたいと改めて感じました。素晴らしい一日をありがとうございました。

合唱団おさわの 野尻 順子

一年で最も寒い時期のコンサート、丸くなりそうな背筋を伸ばしストレッチと発声で体力を整え本番の舞台に向かいました。

今回は、女声のための童謡名歌集「日本の四季めぐり」より「花」「ちいさい秋みつけた」「冬景色」の三曲を選びました。小さい頃からみんなが耳にし何度も歌ったことのある日本の愛唱歌、合唱曲としてもよく演奏される三曲ですが、今回は名田綾子先生の編曲によるもので、全く新しいアレンジの部分もあり、いかに正確な音を捉え持続させるか、全員の声が溶け合って透明感のあるハーモニーを作りたいと、とても苦労しました。また、歌詞の中には今はほとんど使われなくなった言葉もあり、日本語の素晴らしさと美しいハーモニーを響かせることによって、四季折々の風景が目に見え、そんな演奏を目指して練習を重ねました。まだまだ課題も多く、感情の表現や聴く人に気持ちよく伝わるような、そんな演奏を目指し今後も努力を重ねたいと思います。



花水木会

第25回花水木会 記念コンサート

2018年12月2日(日)

富山県高岡文化ホール大ホール

高岡文化ホールにて第25回花水木会コンサートを開催しました。当日は満席となる大勢の皆様にご来場頂き、大盛況の中コーラス、ソロ共にストーリー仕立ての舞台をみんなで生き生きと歌い演じました。

私たちは、水木先生ご指導の下『気持ちのひとつに楽しく歌う』をモットーに、心に響く歌を目指し、歌い続けたいと思います。



富山大学合唱団 第55回定期演奏会

2019年2月23日(土)

富山県教育文化会館ホール

今回の定期演奏会の見どころはなんといってもOB・OG合同ステージでした。常任指揮者の森川先生の最後のステージということで多くのOB・OGの方々が参加してくださいました。

約80人の歌声が一体となって、とても迫力のある演奏となりました。来年度からは、久田先生とともに新しい富山大学合唱団を作っていきます。応援よろしくお祈りします。

合唱団「楽音樹」第9回定期演奏会

2019年3月10日(日)

富山県教育文化会館ホール

創立10周年記念となる今回の演奏会は、作曲家高田三郎氏の『わたしの願い』を、氏の直弟子にあたる合唱指導者の須賀敬一先生を2月に富山へお迎えして直接にご指導を仰ぎ、高田氏のパチカン市国演奏旅行にも同行した、当団常任指揮者の森井淳の指揮でメインステージとして演奏しました。来年の第10回演奏会もご期待下さい。

男声合唱団K&クルー 第39回演奏会

2018年12月9日(日)

富山県民会館ホール

第1部、三沢治美編曲集から「SORA」を門田宇氏を指揮者に招いて演奏。第2部では、元メンバーの作詞作曲桑谷編曲、二胡奏者の張鶴氏とともに中島指揮者で演奏。

第3部は多田武彦作品集から5曲を桑谷指揮者で演奏し、1100名の入場者と共に演奏会を楽しむことが出来ました。

富山少年少女合唱団第51回定期演奏会

2019年2月17日(日)

富山市民プラザ2Fアトリウム

今回の演奏会は、合唱団の新たな一歩として作曲家山下祐加さんに「富山少年少女合唱団団歌」を作曲していただき、披露しました。また、賛助出演のフルートデュオさんの優雅な音色や子供たちとの共演を通して、演奏会に花を添えていただきました。

子供たちの明るく元気な歌声が会場に響き渡り、みなさんからあたたかい拍手をいただけたこと、団員一同感謝しています



こねかからの演奏会

—2019.4~8—

合唱団「音楽室」

サロコンサートVOL.3 スプリングコンサート

4月20日(土)高岡市生涯学習センター交流スペース

唱歌モデルやPOPソング、高岡縁のドラえもんなどの来場者が気軽に足を止めて楽しめる曲を演奏します。

高岡高等学校合唱部

第14回コーラスコンサート

6月1日(土) 高岡文化ホール大ホール

美しい歌声と言葉の意味を大切にしながら表情豊かな合唱を目指して毎日楽しく活動しています。今年のコンサートでは、混声合唱とピアノのための「かなでるからだ」より4曲を歌います。そして、体操部の賛助出演に加え、高岡西高等学校合唱部との交流を深めるため合同で二曲歌うことになっています。皆さんのご来場をお待ちしています。

富山高等学校コーラス部

第50回記念コーラスコンサート

7月19日(金) 富山県教育文化会館ホール

50回の記念コンサートです。現役生の演奏に加え、OB・OGステージもあります。豪華なステージをお楽しみ下さい。

富山東高等学校合唱部

コーラスコンサート

7月21日(日) 富山市民プラザアンサンブルホール

今年初の単独コンサートのテーマは「memorial」。

「むぎや」など、幅広いジャンルの曲を演奏し、昨年度よりも多くの曲をお届けします。ぜひお越しく下さい。

富山いずみ高等学校合唱部

第18回コーラスコンサート

7月21日(日) 富山県教育文化会館ホール

ア・カペラから歌と踊りのポピュラーステージまで、高校生の若さ溢れるステージをお送りします。ぜひご来場ください。

富山中部高等学校コーラス部

第57回コーラスコンサート

7月26日(金) 富山県教育文化会館ホール

今年も四部構成で行う予定です。ミュージカルの題材は「眠れる森の美女」。Nコンでの課題曲

と自由曲等も演奏します。ご来場よろしくお祈りいたします。

高岡第一高等学校合唱部

第30回定期演奏会

7月27日(土) ウィングウイング高岡

第30回目となりました高岡第一高等学校合唱部定期演奏会。新たなメンバーを加えて、新生☆合唱部となった今、皆様に楽しんでいただけたような演奏をお届けします。

合唱団クール・ファミーユ

第12回コーラスコンサート

7月28日(日) 富山県教育文化会館ホール

木下牧子作曲「大伴家持の三つの歌」を演奏します。富山の雄大な自然の景色を詠んだ大伴家持の世界をお楽しみください。

出町中学校合唱部

ハンガリーフラワーパレード

8月20日(火) ハンガリー(テブレツェン)

合唱団「音楽室」

まさる先生とゆかいな仲間達コンサート

8月31日(土) 高岡市生涯学習センターホール

宮丸勝先生が指導する合唱団(3団体)による演奏会。各団の演奏の他、最後には「富山に伝わる三つの民謡」を合同演奏します。

編集後記

新元号「令和」がいよいよ五月一日より施行されます。

平成は地震・台風・大雨・噴火などの大災害が次々と発生し、多くの方が被災・犠牲となりました。一方で、阪神淡路大震災がきっかけとなり、ボランティア文化が根付き社会貢献の世界においても、平成は非常に大きな意味をもちました。合唱も社会貢献活動の一翼を担い、人々の心にエールを送りました。

「令和」には人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められているそうです。合唱を通じてより多くの人と夢と希望と感動を分かち合い、新しい時代明るい未来に向かって歩みだしましょう。

富山県合唱連盟も新体制によりスタートします。皆様からのご意見、またご協力の程よろしくお祈りいたします。

広報部部長 牧野 洋子

副部長 本多以都子

副部長 牧野 典子

☆富山県合唱連盟ホームページ

http://www.geocities.jp/toyamajca/